



### 第5次清瀬市長期総合計画が スタートします

清瀬市では、令和8年度から新たに第5次清瀬市長期総合計画がスタートします。本計画は、10年ぶりの改訂で、これからの市が進むべき道を示す、重要な最上位の計画です。

清瀬市が将来にわたって持続可能なまちとして、また、市民の皆さまが市に愛着と誇りを持ち、いつまでも健康で生きいきと暮らし、さらに、子どもたちが夢を持てるようなまちづくりを進めてまいります。

☎未来創造課イノベーション推進係 ☎042-497-1802



### PR動画を配信！

市公式Youtubeチャンネルでは「第5次清瀬市長期総合計画PR動画」を配信しています。ぜひ、ご覧ください。



動画視聴はこちら



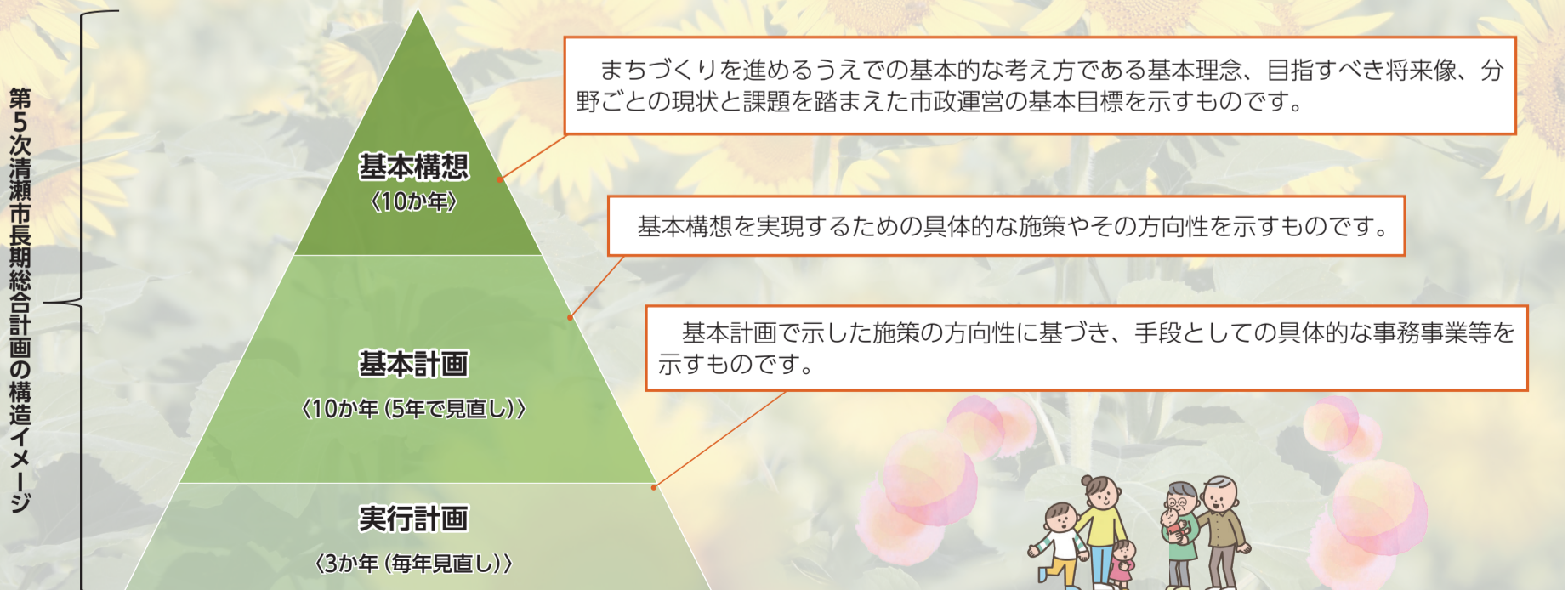
## 計画の位置づけ

さまざまな地域課題があるなかで、より良いまちづくりを推進していくためには、行政だけではなく、市民や市民活動団体、企業など、地域の多様な主体と協働することが重要です。

そのため、本計画は、行政だけが実施する内容を描くものではなく、地域全体で共有し、市民をはじめとする多様な主体と行政のお互いの役割分担を明示しつつ、まちの将来像をともに実現するための計画として位置づけます。

## 第5次清瀬市長期総合計画の構成と期間

### 令和8～17年度までの10年間の計画



# まちづくりの基本理念

基本理念は、地域全般に及び将来のビジョンを示すとともに、まちづくりを進めるうえでの基本的な考え方を表しています。市では、市民をはじめ、清瀬市に関わる方々の声を基に、基本理念を次のように決めました。

# ともに未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬

この基本理念には、10年後の清瀬市の未来に向かって、市に関わるすべての人々が一体となって協力しながら誰もが希望をもち、幸せを実感できるまちを創っていききたいという想いや、市が誇る豊かな自然を次世代へ受け継いでいきたいという想いが込められています。

◆市内に住む小・中学生が描く「10年後の理想の清瀬」(以下は一部抜粋です)



## 将来像

『ともに未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬』という基本理念のもと、あらゆる施策を実行し、4つの将来像(10年後のまちの姿)の実現を目指します。

**将来像①**  
**「子どもも大人も学びあい育ちあう」きよせ**

子どもの育ちと学びが地域全体で支えられるとともに、市民誰もが生涯にわたって学びの機会を得られる環境を整備することで、すべての世代が心豊かに生活できるまちを目指します。

**将来像②**  
**「思いやりに包まれ健やかに暮らす」きよせ**

すべての市民が必要に応じた支援や医療を受け、健やかで心豊かに生きいきと暮らすことができるよう、関係機関や地域との連携・協働を通じて、思いやりに包まれたまちを目指します。

**将来像③**  
**「安全・安心・快適に暮らせる」きよせ**

豊かなみどりと農地を次世代に引き継ぎながら、都市基盤や居住環境の充実、防災・防犯体制の充実・強化を図ることで、誰もが「安全・安心・快適」と感じるまちを目指します。

**将来像④**  
**「活気があふれる」きよせ**

市と関係機関が連携して商店街や市内産業の活性化及びまちの魅力発信に取り組むとともに、職員が力を発揮できる体制の整備など行政基盤を強化することで、にぎわいと活気あふれるまちを目指します。

### ◆計画の体系

基本理念	将来像	基本目標	施策
ともに未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬	① 「子どもも大人も 学びあい育ちあう」 きよせ	子どもの成長を支える社会の構築	地域全体で子どもの育ちを支える仕組みの整備 子どもとその家庭に関する相談体制の充実
		一人ひとりの学びと学びあいの充実	学校教育の充実 地域による子どもの育ちと学びの支援 生涯学習・文化・芸術・スポーツの支援
	② 「思いやりに包まれ 健やかに暮らす」 きよせ	誰一人取り残さない支援の充実	地域福祉の推進 高齢者の支援 生活の安定の確保及び自立 障害者(児)の支援
		「健幸づくり」の推進	健幸づくりの支援 公的医療保険制度の適切な運営
③ 「安全・安心・快適に 暮らせる」 きよせ	協働によるまちづくりの推進	ジェンダー平等社会の推進 市民協働・人権啓発・平和の推進 暮らしの相談体制の充実	適切な土地利用の推進と住環境の整備 道路ネットワークと交通環境の整備 汚水・雨水の処理
	住みよいまちづくりの推進	「健幸づくり」の推進	循環共生型社会の推進 自然と調和したまちの整備
④ 「活気があふれる」 きよせ	環境にやさしい取組の推進	協働によるまちづくりの推進	防災・防犯体制の充実・強化
	安全・安心な暮らしの実現	地域産業の振興	産業・観光の振興
	地域産業の振興	まちの魅力の創造と発信	清瀬の未来の創造 シティプロモーションの推進
職員の育成強化と組織づくり	職員の育成強化と組織づくり	職員の育成強化と組織の強化 業務変革の推進	持続可能な財政の運営 長期的な視点に立った公共施設等の維持・活用
健全な行財政の運営	健全な行財政の運営		

# 市民参画

本計画の策定にあたっては、清瀬市長期総合計画策定審議会のほか、市民懇談会や市民アンケート、パブリックコメント等の市民参加の機会を通じて、市に関わる数多くの方々からさまざまなご意見をいただきました(以下は一部抜粋したものです)。

## ◆「10年後の理想の清瀬」模造紙展示

令和7年7月～8月に、10年後の理想の清瀬市について、そのために必要な取り組みなどについてのアンケートを電子フォーム及び市役所本庁舎に掲示した模造紙にて意見を募集しました。



## ◆清瀬市長期総合計画策定審議会

令和6年12月に設置された清瀬市長期総合計画策定審議会には、公募により選出された市民や学識経験者、地域関係者など、25人の委員が参加し、令和7年10月までの約10か月間、全8回にわたり、「これからの10年間における清瀬市の方向性」について審議と議論を重ねました。



東京都立大学 大学教育センタープレミアム・カレッジ 特任教授・名誉教授 和田会長(右)と澁谷市長

## ◆市民ワークショップ

令和7年7月に、「清瀬市の10年後の理想の姿」をテーマにワークショップを開催しました。当日は、市内から公募で集まった12人の市民の皆さまにご参加いただきました。

ワークショップでは、将来像ごとに、過去から現在の清瀬市の状況を振り返りながら、理想の未来の清瀬市について、各グループに分かれて活発に話し合っていました。



## ◆保育園児・幼稚園児アンケート

令和7年8月に、未就学児の意見を集めるため、清瀬ゆりかご幼稚園の年長クラスと清瀬市立第1保育園の5歳児クラスの子どもたちに自分の意見だと思ふ選択肢にシールを貼るシールアンケートを行いました。

市全体について意見を聞くための「このまち(清瀬市)で好きなところは?」という質問のほか、子育て環境の理解や今後の施策の参考のために、「どこにいるときがたのしい?」や「だれといるときがたのしい?」という質問に答えていただきました。



## ◆中学生インタビュー

令和7年9月に、市として目指す10年後の姿について、中学生の意見を集めるため、市立中学校5校の生徒会メンバーを対象に、対面によるインタビューを行いました。

10年後の理想の清瀬市について、話していただきました。



## ◆外国人市民等インタビュー ◆障害者団体アンケート・インタビュー

令和7年8月～9月に、外国人の市民等の意見を集めるため、清瀬国際交流会の皆さまにインタビューを行いました。また、令和7年9月には、障害のある市民の意見を集めるため、市内6か所の障害者施設でのアンケートを行うとともに、清瀬視覚障害者グループあかりの方にもインタビューを行いました。

「清瀬市で好きなところはどこですか?」という質問のほか、「生活で困ったことや不便なことはありますか?」や「どのようなまちになってほしいですか?」という質問に答えていただきました。



たくさんのご意見ありがとうございました